

事務事業評価表

○基礎情報

課名		産業振興課		作成責任者					
施策目標	55	多くの人々を誘う魅力あるまちづくりを支援する	石井 智裕	常勤職員		常勤職員以外		総従事者	
				管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
				2 人	14 人	0 人	1 人	4 人	18.10 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
2,502 時間	14.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
市内における増加事業所数	103事業所	100事業所	103事業所	119事業所	105事業所
観光客消費額	5,335百万円	5,600百万円	5,335百万円	4,845百万円	4,626百万円
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	企業の安定的な経営支援
2	企業の立地支援
3	茅ヶ崎ブランド製品の販売促進支援
4	魅力ある商店街と個店の育成支援
5	観光資源の開発の促進
6	回遊性の確保

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれた成果・効果) (対象) (手段・方法)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	工業振興支援事業	1	0.71	一般	1,172,000 414,233	1,050,000 636,736	市内事業者に対して、ホームページや事業所訪問にて制度の紹介を行った。また、ロボット関連事業についての展示会出展について補助内容を拡充した。拡充したロボット関連事業の展示会へ出展する市内事業者もあった。	展示会の出展者数	13人	7人	A	変動なし		
2	創業者支援事業	1	0.41	一般	4,676,000 3,647,857	3,283,000 3,160,496	創業者または創業予定者に対し、段階に応じた支援を実施することにより市内創業者の増加を図った。具体的には経済団体と連携した創業支援セミナーやビジネスコンテスト、講演会の開催をするとともに、創業について相談を受けていた方々への情報提供を行った。ビジネスコンテストでは市内事業者が大賞等を受賞した。	特定創業支援事業により支援を受けたことの証明書発行件数	2件	1件	A	変動なし		
3	中小企業経営安定支援事業	1	0.66	一般	1,258,496,000 1,250,155,349	1,252,803,000 1,252,698,996	市内に事業所を有する事業者に対して、金融機関と連携して低金利の融資メニューを用意するとともに、一部のメニューについて利子等についての補助事業を実施した。その結果、市内事業者の経営基盤の確立と経営の近代化を促進した。	融資制度の利用件数	210件	181件	S	変動なし	●	

4	産業活性化等調査研究等事業	1	0.13	一般	797,000 756,062	0 0	市内産業全般の変化を捉えた活性化方法について調査研究を行った。	検討会等の開催回数	年10回	12回	S	変動なし		
5	商工関係団体支援事業	1	0.20	一般	10,503,000 10,254,730	10,503,000 10,030,181	交付5団体に対して、商工業の健全な発展を図るため、対象の事務局費及び事業費の一部を助成し、商工業振興を推進した。	交付団体数	5団体	5団体	S	変動なし		
6	中小企業特許取得支援事業	1	0.04	一般	600,000 410,000	600,000 549,000	市内事業者に対して、特許取得に要した経費に補助金を交付することで、知的財産権取得の推進及び中小企業の技術製品開発の促進を図った。	補助金の交付件数	3件	3件	S	変動なし		
7	優良産業人等表彰事業	1	0.03	一般	105,000 92,500	105,000 92,500	社会的功績の顕著な者や企業・商店の振興に寄与した地域企業の表彰を行った。	被表彰者・店舗の数	40人・店舗	44人・店舗 (37人・6店舗)	S	変動なし		
8	特定退職金共済掛金支援事業	1	0.38	一般	1,914,000 1,770,100	1,878,000 1,754,600	中小企業者の人材確保と定着性を図るため、申請のあった103件に、特定退職金共済掛金に対する補助を行った。	補助金交付件数	110件	103件	S	変動なし	●	
9	商工業振興イベント支援事業	1	0.28	一般	1,710,000 1,707,840	1,620,000 1,620,000	市内事業者に対して自社製品等を宣伝する場を用意するとともに、産業フェア来場者に対して、市内事業者の産業製品、特産品等を宣伝することで、企業のPR支援及び市民と一体となった産業の振興と活性化を図った。	産業フェアの来場者数	37,000人	前年比 8.6%増 38,000人	S	変動なし		
10	さがみロボット産業特区推進事業	1	0.25	一般	0 0	0 0	ロボット関連事業に興味を持つ市内事業者を神奈川県へ推薦し、神奈川県職員が市職員立会のもと同事業者へ訪問・ヒアリングを実施したことで、ロボット研究会への参画へ結びつけた。また、産業フェアにさがみロボット産業特区ブースを設けることで、産業フェア来場者に対して、さがみロボット産業特区のPRを行った。	ロボット産業に取り組む企業の数	1社	1社	S	変動なし		
11	企業等立地等促進事業	2	0.44	一般	41,000 41,000	41,000 41,000	新たに茅ヶ崎市内へ進出を考えている事業者や市外事業者等に対して、支援制度のPRや説明を行うとともに、市内に既に立地している企業の設備投資等に対しても支援制度の説明等を行い、企業の立地や設備投資の支援を行った。	奨励措置適用件数	15件	8件	A	変動なし		
12	観光物産等のPR事業	3	0.25	一般	0 0	425,000 264,858	市の特産物等を観光案内所及び市庁舎内において展示PRし、産業振興・観光振興を図る。市民に対し、茅ヶ崎市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザ内の展示コーナーに名産品コーナー：9区画、ふるさと納税返礼品コーナー：9区画（計18区画）を設け、半期ごとの入れ替え制とし、年間36事業者の展示を行った。	年間展示事業者数	50事業者	36事業者	A	変動なし		
13	商業振興支援事業	4	0.99	一般	10,260,000 4,832,000	5,460,000 3,537,000	市内の商業者に対しにぎわい創出事業補助金の周知を行った結果事業者から6件の申し込みがあり、交付を行った。	にぎわい創出事業補助金の交付件数	12件	6件	A	変動なし		
14	商店街振興支援事業	4	0.33	一般	20,500,000 16,277,000	17,730,000 15,463,000	市内の発展的な取り組みを行う商店街団体に対し相談の場を設ける等の支援を実施することで商店街の魅力向上に努めた。	補助金を活用する商店街団体の数	25団体	24団体	S	変動なし		
15	道の駅整備推進事業	5	4.42	一般 繰越	772,099,740 373,940,311	604,662,327 264,729,017	市民・来訪者が利用しやすいよう、道の駅周辺道路の歩道改良工事を実施し、快適な歩道空間を提供できたとともに、景観もよくなった。	整備事業の進捗	工事着手	周辺道路工事の一部完了	A	増加		
16	茅ヶ崎海岸グランドプラン推進事業	5	0.21	一般	777,600 696,362	300,000 235,149	市民・海岸利用者にとって、老朽化が進んでいた単管パイプ製の柵を取り換えたことにより、景観もよくなり、危険性もなくなった。	茅ヶ崎海岸グランドプランの総合調整協議の進捗率	100%（関係団体との意見交換12回）	100%（関係団体との意見交換12回）	S	変動なし		

17	茅ヶ崎西浜駐車場跡地活用事業	5	0.15	一般	8,132,400 0	0 0	関係団体や企業に対し、暫定的なイベント会場や時間貸の駐車場として活用を行った。	民間活力を活かした土地活用	活用開始	暫定的な活用	A	変動なし		
18	観光シティプロモーション推進事業	5	0.31	一般	100,000 86,400	148,000 146,396	観光振興ビジョンに基づき、市内外に本市の持つ観光資源などのまちの魅力を広く戦略的に発信することにより、観光振興の推進と地域経済の活性化を図る。観光振興ビジョンに基づき、市内外に対し、本市が持つ観光資源などまちの魅力について、SNSの活用や様々な媒体の活用を図るなど、戦略的な情報発信を行い、観光振興の推進と地域経済の活性化に取り組んだ結果、観光消費額について、目標値の78%の達成率となった。	観光消費単価(暦年)	2,000円	1,566円	A	変動なし		
19	観光協会運営支援事業	5	1.05	一般	31,090,000 31,090,000	37,090,000 37,090,000	市観光協会の事務局人件費及び維持管理費の補助を行い、組織力の向上及び運営基盤の安定を図るとともに、観光事業に対する補助を行い、観光振興と観光客の増大を図る。市観光協会に対し、運営基盤の安定及び組織力の向上を図るとともに、観光事業に対する補助を行ったことにより、観光客の誘致及び地域経済の活性化を推進するため、茅ヶ崎ジャンボリーやゆるキャラパーティーなど観光協会自主イベントを実施した。	自主イベント開催回数	4回	4回	S	変動なし		
20	観光誘客支援事業	5	0.59	一般	19,492,000 19,492,000	19,492,000 19,492,000	観光客の誘客を図るため、観光ガイドマップや誘客ポスター、イベント(浜降祭・花火大会)ポスターの作成補助を行った。また、海水浴場開設前に埼玉県で誘客キャンペーンを実施し、市外から本市への観光客の誘致を積極的に展開し、本市の観光客数及び観光消費額へと結びつけた。	延べ観光客数(暦年)	324万人	前年比 2.6%減 295万人	S	変動なし		
21	海水浴場運営事業	5	0.56	一般	14,631,000 14,631,000	14,561,000 14,561,000	観光客の誘致を目的に、海水浴場を開設し、利用者の健康づくりとレクリエーションの場を確保することにより、観光振興及び産業の活性化を図った。海水浴場で多数のイベントもあり、海水浴場へ多くの来場者を誘致することができた。	海水浴場入込客数	16.1万人	前年比 21.7%増 16.8万人	S	変動なし		
22	観光施設整備事業	5	0.30	一般	2,600,000 2,552,875	2,701,000 2,572,530	観光関連施設等の整備・維持管理のために海岸清掃等を行うことで、観光客のみならず、海岸利用者の利便性の向上を図り、海岸の魅力を向上させることで海岸利用者の利用促進をした。	海岸清掃の回数	約280回	262回	S	変動なし		
23	観光資源の回遊性充実事業	6	0.42	一般	600,000 600,000	600,000 600,000	観光客の回遊性の向上と滞在時間を長期化させる仕組みを関係団体等と連携協議しながら構築することで、観光振興の推進と地域経済の活性化を図った。観光アプリ「ちがさき散歩」については4,200件以上のダウンロード数となり、また回遊ルート企画立案と実施により、多数の参加者による地域資源の周遊ツアーを実施した。	観光アプリのダウンロード数(累計)	3,500件	4,296件	S	変動なし		
24	大岡越前祭行事支援事業	6	0.62	一般	5,015,000 5,000,000	5,015,000 4,978,887	観光及び商業の活性化を図るため、本市の4大まつりである大岡越前祭(大岡越前祭実行委員会)に補助し、イベントの周知など開催に向けた支援を行うことで、前年度を上回る多くの来場者を誘致することができた。また、大岡越前浄見寺地元まつり(大岡越前浄見寺地元まつり実行委員会)にも補助し、実施に向けた支援を行い、多くの来場者を誘致することができた。	来場者数	75,000人	前年対比 8.5%増 87,000人	S	変動なし		

25	花火大会行事支援事業	6	0.65	一般	8,732,000	9,032,000	花火大会実行委員会の一員として、駐輪場の確保や会場の整地の調整、公共施設への募金箱の設置、各種メディアを用いた情報発信を行った。当日は、経済部で会場設営の補助を行った。また、翌日清掃に対して環境部と産業振興課にて職員を派遣し美化に努めた。結果、前年度を上回る多くの来場者を誘致することができた。	来場者数	75,000人	前年対比 4.7%増 78,000人	S	変動なし		
					8,732,000	9,032,000								
26	浜降祭行事支援事業	6	0.25	一般	2,337,000	2,337,000	茅ヶ崎海岸浜降祭実行委員会の一員として、会場の整地やトイレ設置・汲み取り等に係るインフラ関係の事務を行った。また、浜降祭の紹介するオリジナル動画を作成し、各種メディアにて情報発信を図った。結果、前年度を上回る来場者を誘致することができた。	来場者数	75,000人	前年対比 1.2%増 77,000人	S	変動なし		
					2,337,000	2,337,000								
合計					H30予算(円)	1,991,436,327								
					H30決算(円)	1,645,622,346								

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

産業振興課の第4次実施計画の事務事業数は36事業となっており、うち政策的事業は26事業である。

政策的事業について評価を実施した結果は、「S」評価としたもの18事業、「A」評価としたもの8事業となっており、概ねの事業で成果を出すことができた。

30年度は、事業No.24「大岡越前祭行事支援事業」、事業No.25「花火大会行事支援事業」No.26「浜降祭行事支援事業」など多数のイベントで目標を達成することができた反面、年間を通じて観光客数は、前年比を下回っており、年間通じて安定して観光客を誘致することが、地域経済の活性化に繋がっていくと考えている。今後も継続的に事業を実施して、更なる経済活性化を促進していく。

職員の時間外勤務については、総時間2,502時間、一人あたり月平均14.9時間となっており、29年度の総時間4,675時間、一人あたり月平均27.8時間と比較すると、総時間にして約46%の減少と大幅に削減することができた。29年度に取り組んだ働き方の見直しや職員の意識改革が一定の効果をあげた結果と捉えているが、更なる労働生産性の向上を図るため、各事務事業において効率性、実効性を検証し事務の見直し等を実施していく。

昨年度の事務事業評価において見直し対象とした事業No.13「商業振興支援事業」においては、にぎわい創出事業補助金の補助内容を見直すこととし、令和元年度より適用することとした。また、事業No.6「中小企業特許取得支援事業」においては中小企業特許取得補助金を廃止することとした。所管する補助金について引き続き実効性を検証し、各補助金の目的を達成するための見直し等を実施していく。

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
3	中小企業経営安定支援事業	30年度においては融資業務における伝票処理業務の見直しを実施し、一定の効果が出ているものと考えているが、事務手順についてブレイクダウンを実施し、更なる効率化を図る。
8	特定退職金共済掛金支援事業	特定退職金共済掛金補助金について、他の退職金共済制度に対する公的支援を勧奨し、補助内容の見直しについて関係団体と引き続き協議する。

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	所管の事務事業については、外部団体等との調整が多く、検討に時間を要するため、今年度は、次期総合計画期間において、現在の事務事業の休廃止が可能か、検討を進めることとする。

取り組みの結果	
総括評価で述べたように、職員の時間外勤務については減少しており、働き方の見直しの取り組みが一定の効果をあげているものと捉えている。引き続き、朝礼や定期的な打ち合わせの実施による情報共有、スケジュールソフトを活用したタイムマネジメント、マニュアルを活用した業務の効率化など、それぞれの取り組みを実施するとともに、取り組みのブラッシュアップを実施し、更なる労働生産性の向上に取り組む。	